

ひと、まち、
しごとをツナグ。

Qideyo Kumano

[熊野市移住ガイドブック / おいでよ熊野]

おいでよ、自然、郷土を
愛する人々が集うまちへ。

[三重県 熊野市]

移住するための4つのアドバイス

1 田舎でしたいことは？

なぜ田舎で暮らしをしたいと考え始めたのですか？農業？林業？漁業？趣味を満喫？起業？自然の中で子育て？
まずは移住して何をしたいか考えてみましょう。
山あり海ありの熊野市では、あらゆるライフスタイルのニーズにも応えられます。

2 移住先はどう絞る？

空き家バンクで家から探すもよし、したいことが実現できる地域を探すもよし、とにかく現地を見て気に入る地域を探すもよし。
家が安いから、お金がもらえるからというような理由で移住をすると必ず後悔します。
熊野市ではあなたの希望に合わせて相談員がアドバイスをいたします。

3 現地へ行こう！

気になる市町があったら現地の雰囲気や住んで生活したときのイメージを持つためにも訪問をしましょう。
熊野市では訪問していただければ、希望に沿った地域を案内します（土日もOK）。

移住を決断する前にこのパンフレットを読み、もう一度移住したい理由を考えてみましょう。
不安に思うことや悩みがある時は「移住相談員」に相談しましょう、相談員は様々な地域の情報を持っているので一つひとつ、一緒に解消してあなたの思い描く田舎暮らしにあった地域を探しましょう。

4 相談に遠慮は不要！

「まだ移住先としても決めてないし、案内してもらうのは悪いような・・・」なんて考えはいりません！

移住は人生の大きな転換点です。私たちは移住先を探している人が一番理想的で幸せになれる地域を見つけてもらいたいと考えています。必ずしもその人にとって熊野市が最良というわけではないので、案内をさせてもらっても、ここは違うと思ったら遠慮なく断っていただいても大丈夫です。

もし、熊野を気に入ってくれて、移住先の候補としていただけるのであれば全力でお手伝いします。

■一緒に考えましょう！

移住を決断するまでにはとても時間のかかるものです。
家のことや、子育てのこと仕事のことなどなんでも相談ください。
一緒になって、移住の実現に向けて考えましょう。

■掘り出し物件は地元へ聞くのが一番！

家さがしは空き家バンクが基本ですが、地域の方が掘り出し物件の情報を持っていることもあります。
地域の人に「あなたに来てほしい」と思ってもらえることでイイ空き家が見つかるかもしれません。

■地域の方が望む移住者

集落の人口が数十人や数百人の地域では1人の移住者の存在はとても大きなものです。
地域の人にとっては移住者に何かを求めているわけではなく、そこに住み、一緒になって地域の行事や近所づきあいをしてくれるだけでいいのです。
つまり、地域の人たちは地域になじんでもらえるひとを求めています。

移住する時に 気になること

大切です

熊野市に移住していただく前に知って欲しい、伝えておきたい熊野市の現状です。
移住者にとって大切な生活環境など、気になる部分・大切な事を掲載しております。
支援も充実しており、子育て支援は全国トップクラスを誇っています。

熊野市の生活



仕事は？

移住を検討するうえで仕事探しは大きな課題です。
市では移住相談員のほか、就業専門の相談員がいます
ので、一緒に仕事を探しましょう。
市内にはハローワークもあります。

家は？

市街地では一軒家を借りようと思うと安くても5万円以上します。また、そもそも空き家がなかなかありません。
山間部や海岸部では空き家も多く、一軒家でも相場は5千円～2万円程度です。ただし、トイレが汲み取りだったり、風呂とトイレが外という昔ながらの家が多いです。

病院は？

市街地には個人医院が多数あります。一方、山間部、海岸部の各集落に診療所がありますが、医師が常駐しておらず、週2回～月1回などの巡回診療がほとんどです。
熊野市には耳鼻科、皮膚科などの病院はありませんが、隣の御浜町や尾鷲市、和歌山県新宮市に行けばあります。
また、日曜、祝日などは市街地で応急診療所が休日診療をしています。

公共交通機関は？

●JR：海岸線を南北に縦断しています。熊野市駅は特急が止まります。
●バス：熊野市駅を中心に各集落へバスが走っています。ただし、1日3～4往復しかありません。
*日常生活には車が必要です。

子育ては？

市内には公立保育園5園・私立保育園2園・小学校9校・中学校7校・高校1校があります。保育料無料をはじめとした子育て支援が充実しています。

インターネットは？

市街地ではNTTの光通信とケーブルテレビ会社のケーブルネットワークが利用できます。
その他のどの地域でもケーブルネットワークは利用できます。

買い物は？

市街地にスーパー、コンビニ、百元ショップ、本屋、電気屋、ドラッグストアなどがあり、市内で普段の生活用品は一通り揃います。山間部や海岸部の集落にも個人が経営している商店があります。

起業・就業支援

一 起業支援

熊野市創業支援融資助成事業

市内で創業される若者、女性などに融資や保証料の一部を助成します。

商店街チャレンジショップ支援事業

市街地の記念通り商店街内の空き店舗を利用し、将来出店したいと考えている創業希望者に一定期間（最長6か月）店舗を貸し出します。

一 第1次産業就業支援

新規就農等施設園芸補助金

新規に施設園芸（ビニールハウス等）を生業として始める方に、その整備にかかる経費の1/2（最低3a以上1aあたり30万円以内、300万円が限度）を補助します。

第1次産業新規就労者住宅手当

転入して第1次産業に従事するものに対し、市内に賃貸した住宅に係る家賃の一部を補助します。（2万円/月、上限2年間）



熊野市チャレンジショップ支援事業

中心市街地の空き店舗を活用して起業した場合、家賃の1/2（月額上限3万円）を最大2年間補助します。

専門家派遣事業

熊野商工会議所と連携して、事業者（創業希望者を含む）の抱えている経営課題を解決するための専門家を無料で派遣します。

新規就農者経営安定支援金（貸付金）

市が指定する品目（みかん、唐辛子、高菜）を経営の中心として組み込んだ場合、国の青年就農給付金に乗せして支援金を支給します。

子育て支援



熊野市では掲載している以外にも
子育て支援が盛りだくさんです

出産祝いレインボー商品券支給

出産したとき、お祝いとして10万円分のレインボー商品券（地元商品券）を支給します。

任意予防接種補助

おたふくかぜ、ロタウイルス、MR、麻疹、風疹、高齢者肺炎球菌に要する費用の一部を補助します。

児童発達支援施設無料化・通園支援

発達支援施設（紀宝町の「通園めだか」）に通う際の自己負担額を無料にします。

ふるさと商店街子育て支援事業

18歳未満の子どもが3人以上いる世帯に対して、市内の協賛店舗で買い物することで、その購入額に応じて地元商品券と交換できるサービスが受けられるパスポートを発行します。

高校生等医療費無料

高校生等の医療費の自己負担額を無料にします。

幼稚園保育所保育料無料

私立保育所、公立保育所にかかる保育料のうち3歳児から3年間を無料にします。延長保育は有料です。

小・中学校給食費補助（100円給食）

市内全小中学校の給食に係る費用を補助し、1食あたり約100円にします。

高校生通学費補助

木本高校、紀南高校に通学する生徒に対して、通学にかかる費用の1/3を補助する。

小学校遠距離通学費補助

学校から2km以上などから通う児童の通学費を補助します。

熊野市の紹介

飛鳥町・五郷町

●人口約 2,000 人
市街地から車で約 20～30 分
清流大又川に沿うように国道と集落がある林業で栄えた山間部地域。市街地まで比較的広く走りやすい国道を車で 20 分～30 分で行けるため、市街地まで仕事に通う人も少なくありません。
また、五郷町には商店や JA の直売所、コンビニなどがあり、山間部の中でも特に便利です。
朝晩の寒暖差があり野菜がおいしく育つ地域です。



海岸部

●人口約 2,150 人
市街地から車で約 10～30 分
「快水浴場百選」に選ばれた新鹿海水浴場がある新鹿町を中心として浦々に漁村が点在する地域。平地が少なく斜面に家が密集している地区が多く、景色は抜群ですが、庭や畑もない地区が多いのが特徴。車を横付けできる家は非常に少ないです。
高速道路ができたことで市街地へのアクセスもよくなっています。
きれいな海のそばで釣りやマリンスポーツを楽しみたい人にオススメ



神川町・育生町

●人口約 500 人
市街地から車で約 20～40 分
神川町ではここでしか取れない基石の黒石の原料「那智黒石」が名産となっており、集落には地域の人の憩いの場となっている神川温泉があります。育生町には古くからお神酒として「どぶろく」の醸造が認められている全国的にも珍しい大森神社があります。隣の和歌山県北山村には病院、温泉、コンビニなどの施設が充実しており、生活するうえでは切り離せません。



紀和町

●人口約 1,100 人
市街地から車で約 30～50 分
紀和町は昭和 9 年から昭和 53 年まで紀州鉱山として国内屈指の銅の採掘がおこなわれた鉱山のまちでした。今もなお、選鉱場跡地やトロッコ電車、温泉が残っており、観光資源として活用されています。
特に湯ノ口温泉は源泉かけ流しで泉質が最高の温泉です。中心地の入鹿地区には商店や診療所、コミュニティセンターなどの施設が充実しています。



和歌山県
新宮市

市街地

●人口約 11,600 人
熊野市の人口の約 67% が住んでいます。
市の玄関口である熊野市駅のほか市役所、熊野市の多くの人が日常生活の買い物をするスーパー、蔵書が充実した図書館、市内唯一の高校、病院などが集まる地域。
日常生活に必要なものは一通り揃います。
少しは便利なところに住みながら、休日は山や海、川などのアクティビティを楽しみたいという方にオススメ



01



人の良さも魅力のひとつです

▶ 五郷町在住 | 後藤 大輔さん [林業] ▶ 家族構成 妻・子ども1人 ▶ 前住所 東京都 ▶ 移住歴 1年

▶ 熊野市への移住のきっかけ

林業がしたいと思っていました。妻が尾鷲市出身ということもあり三重県で就業することにしました。妻の両親が熊野は人が良いということを知り、熊野の森林組合に就職を決め、それから家を探しました。

▶ 移住までにかかった時間

1ヶ月

▶ 移住の決め手

五郷に来てみたらコンビニがあったりと、環境が良くて予想以上に良いところだったからです。

▶ 家の探し方

熊野市役所を窓口にして五郷住民の方に探してもらいました。

▶ 熊野市の魅力

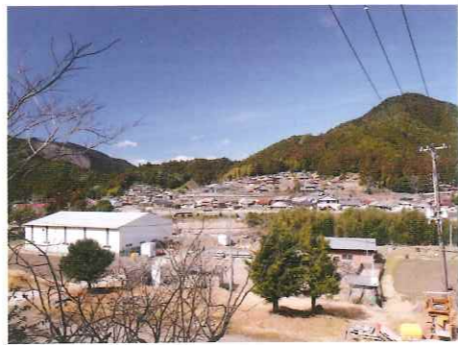
人、自然、世界遺産

▶ 移住前の不安

特にありませんでした。

▶ 移住して困ったこと

特にありません。



02



地域おこし協力隊がきっかけで

▶ 紀和町在住 | 村瀬 和孝さん [農業] ▶ 家族構成 妻・子ども2人 ▶ 前住所 大阪府 ▶ 移住歴 7年

▶ 熊野市への移住のきっかけ

有機農業で自立すべく地元（大阪）の有機農業法人を訪ねたが思い描くようなところがなく、最後に熊野市の地域おこし協力隊に応募しました。熊野市に応募したのは他の自治体の募集要項と比較して自由度が高そうだったからです。有機農業で生活できて、なおかつ過疎集落の地域おこしができるならば良いなと思いました。担当者もそれでOKしてくれました。

▶ 移住までにかかった時間

6ヶ月

▶ 移住の決め手

地域おこし協力隊に採用されたこと。

▶ 家の探し方

地域おこし協力隊の制度として任務中の家は市から提供された。現住居は近くの空き家を地元の人に紹介され入居しました。

▶ 仕事の探し方

有機農業をしようと決めていました。

▶ 移住後の楽しみ

川遊び、温泉、山歩き、火を囲むこと

▶ 熊野市の魅力

人が良い。自然も良いが自然よりも人が良い。

▶ 移住前の不安

田舎でうまくやっっているかどうか。

▶ 移住して困ったこと

緊急のときの医療機関が遠い。

▶ 移住したい人へのアドバイス

都会での暮らしに疑問があるならとりあえず田舎に移住してみることです。より人間らしく生きられる。自分のやりたいことと地域のニーズのバランスを考えることが大切。田舎では自分だけが成功しても地域が置いてきぼりだとそれは失敗。

▶ 地域との関わり方

副区長を務めています。地域行事や草刈に参加。台風後の見回り、消防団活動にも参加しています。

▶ 生活費

■ 約9万円





したいことができる場所をさがして

▶ 金山町在住 | 鈴木 翔さん [農業]

▶ 家族構成 妻・子ども3人
▶ 前住所 四日市 ▶ 移住歴 8年

▶ 熊野市への移住のきっかけ

果樹を栽培する農家になりたかったのでしたい農業ができる場所を探しました。

▶ 移住までにかかった時間

農業をしたくて、何を作るかどこでできるかを2年ほど探しました。熊野市に相談をしてからは3ヵ月で引っ越しました。

▶ 移住の決め手

熊野市の担当の方が親身になって相談に乗ってくれたので、熊野市にしようと考えました。また、農業をするうえで支援の体制が整っていたこともあります。

▶ 家の探し方

最初は市が用意してくれた1次産業に従事する人向けの住宅を借りました。その後は農業担当の三重県の職員さんや、研修先の農家さんに紹介してもらい、今の家に落ち着きました。夢は家を建てることです。

▶ 仕事の探し方

最初から農業がしたいということが決まっていたので、仕事は探していません。みなさん仕事がないといいますが、意外に調べてみると仕事はあると思います。

▶ 移住後の楽しみ

仕事は充実していますが、まだ余裕がありません。でも、子どもも

大きくなってきたので、一緒に海や川なども楽しみたいです。

▶ 熊野市の魅力

人の良さが魅力だと思います。今の自分があるのは地域の人や市役所の人のおかげです。

▶ 移住前の不安

お金がなかったのが、生活していけるのか不安でした。

▶ 移住して困ったこと

みかん農家になるには畑に近いことや倉庫があることなどの条件があるので、農家ができる家をさがすのが大変でした。

▶ 移住したい人へのアドバイス

田舎へ行って自分がどうしていきたいかをまず考える方がいいです。農業を始めたい方はしたい農業についてしっかり考え、立地条件等を調べておかないと後悔するかもしれません。

▶ 地域との関わり方

多いのは地元のみかん農家さんや、消防団の付き合いがあります。地元の伝統的な踊りにも誘われて参加しています。

▶ 生活費

■ 約20万円



理想通りの風景

▶ 新鹿町在住 | 高田 伊都子さん [就業]

▶ 家族構成 1人暮らし
▶ 前住所 神奈川県 ▶ 移住歴 11年

▶ 熊野市への移住のきっかけ、決め手、家の探し方

畑があり、空気の綺麗な田舎に引っ越したいと思っていました。1年半くらいは漠然としていたが、年齢的なタイミングで、本格的に移住地を探しました。地方都市、田舎を観光もかねて回っていた時に会った町が熊野市新鹿町でした。思い描いていたイメージにも近く、住民と話をしていたら家を貸してくれる事になったので、とりあえず、住んでみるか、という気持ちで引っ越してきました。条件的には、理想通りの土地であり、今考えると、何となくの一連の流れだったように思います。

▶ 仕事の探し方

農的な暮らしに憧れていたが、それだけでは生活していけないと思って、仕事を探している時に地域の郵便局がちょうどバイトを募集していたので応募し現在は週5日で勤務しています。熊野市はちょっとしたバイトだったら、見つけれられると思います。

▶ 移住後の楽しみ

家の前に畑があってちょちょっと採ってすぐに食べられるのに喜びを感じます。

▶ 熊野市の魅力

海、山、川、熊野古道、など、身近にアウトドアな遊びができる。熊野市立図書館が好き。魚がおいしい。

▶ 移住前の不安

ちゃんと生活していけるか、やや不安だった。地域的に地震、津波の災害は移住前から気がかりです。

▶ 移住して困ったこと

実家が遠いので、帰省に交通費、時間がかかる。車が必須なので、車の維持費がけっこうかかる。

▶ 移住したい人へのアドバイス

農業や起業をしたり、経済性を重視するのなら、慎重に段取りを進めた方が良くと思う。漠然と自然の中で暮らしたいと考えているならば、とりあえず、行ってみて、住んでみて、やっていけそうだったら住めばいいし、ダメだったら、また考えれば良いと思う。

▶ 地域との関わり方

私の地域では年1回の草刈作業が重要。熊野古道伊勢路語り部の会と熊野マリンスポーツ推進委員会での活動。この二つの会のおかげで、地元の方々とも仲良くなりました。

▶ 生活費

■ 約12.5万円



アクセスマップ



自動車

- 名古屋から
東名阪自動車道⇒伊勢自動車道⇒紀勢自動車道⇒熊野尾鷲道路(熊野大泊IC)にて約2時間50分
- 大阪から
南阪奈道路(葛城IC)⇒国道165号⇒橿原⇒国道169号⇒国道309号⇒国道42号經由にて約3時間30分

公共交通機関

- 名古屋から
・JR名古屋駅/紀勢本線 特急ワイドビュー南紀(約3時間)⇒JR熊野市駅
・名鉄バスセンター/高速バス(約3時間30分)⇒熊野市
- 大阪 天王寺から
JR天王寺駅/紀勢本線 特急くろしお号(約3時間40分)⇒JR新宮駅(普通列車約30分)⇒JR熊野市駅



熊野市役所 市長公室 移住定住担当

〒519-4392 三重県熊野市井戸町 796

TEL 0597-89-4111 (内線 313) FAX 0597-89-5501

Mail kumano_sumo@zd.ztv.ne.jp

■面積：373.3 km²
■人口：17,469 人
■世帯数：9,021 世帯

■降水量：約 3,000mm
■平均気温：16.6℃

※平成 29 年 4 月 1 日